

# TOTO

## 施工・取扱説明書

### フラッシュバルブ(小便器用)

工事店さまへのお願い


この説明書は必ずお客様にお渡しください。

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工・取扱説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。また、ご使用のお客様の方で本施工・取扱説明書をよくお読みいただき、大切に保管してください。



## 1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。




- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
 <b>注意</b>	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	⊘ は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
	ⓘ は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

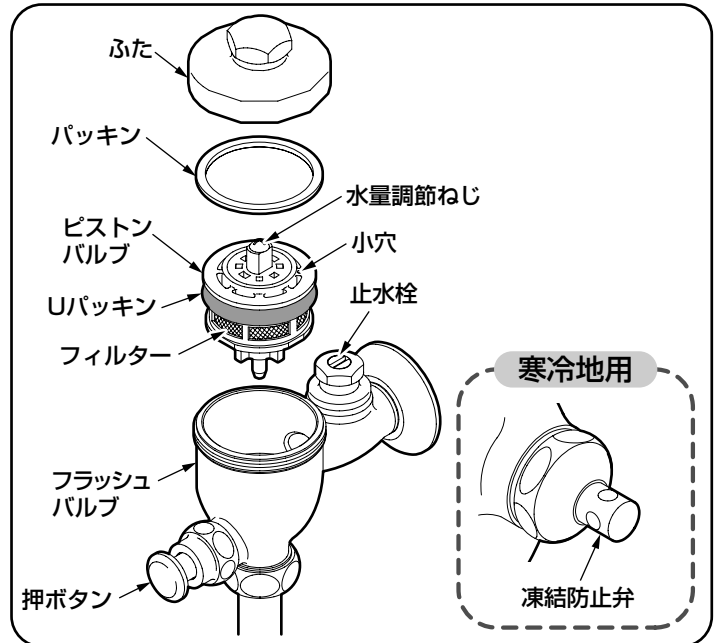
### 注意

	<b>禁止</b> 強い力や衝撃を与えない 破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。 本体の通路には抵抗となるような部材(オリフィスなど)をつけない 洗浄機能への悪影響や水漏れのおそれがあります。
	<b>分解禁止</b> この説明書に記載された項目以外は、分解・改造しない 破損して、けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
	<b>必ず実行</b> フィルターの掃除をする際は、いきなりフィルターをゆるめずに、止水栓を閉めてから行う 水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。 めっきされた部分にモンキーレンチなどを用いる場合は、めっきを傷付けないように必ず布片を挟む めっきがはがれ、けがをするおそれがあります。 空気の混入が考えられる給水配管には必ず空気抜き弁を取り付け、空気が配管内に残らないようにする 新築・改修工事後や、水道断水復旧後に、大量の空気と水が混入して器具に供給されると、器具の破損や故障の原因となり、けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。 凍結のおそれがある時期は、凍結防止弁を確実に開ける(寒冷地用) 閉めたままにしておくと、流動水が流れず通水内部が凍結し、部品が破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生の原因になります。

## 2 仕様

給水圧力	最低必要水圧	0.07MPa(流動圧)
	最高水圧	0.75MPa(静水圧)
給水接続部		PJ 1/2
使用環境温度	一般地用	1~40℃
	寒冷地用	-10~40℃ (水温は4~40℃) -5~40℃ (水温は2~40℃)
使用可能水質		水道水

## 3 各部のなまえ

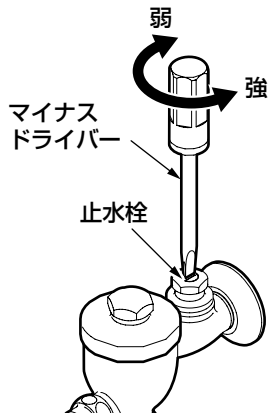


## 4 施工時の注意

- 器具を取り付ける前に、必ず給水管内のごみ・砂などを完全に洗い流してください。
- フラッシュバルブが垂直(ふたが上)になるように取り付けてください。

# 5

## 水勢の調節



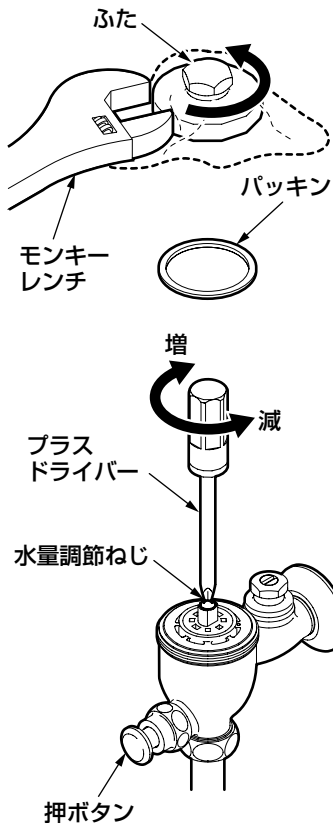
マイナスドライバーなどで止水栓のねじを回す。

時計回り……水勢が弱くなります。  
反時計回り……水勢が強くなります。

調節が可能な範囲は、全閉から3回転程度です。

# 6

## 洗浄水量の調節



1. モンキーレンチでふたを外す。

めっきを傷付けないように必ず布片を挟んでください。

2. プラスドライバーなどで水量調節ねじを回す。

時計回り……洗浄水量が増加します。  
反時計回り……洗浄水量が減少します。

調節が可能な範囲は、全閉から3回転程度です。

3. 押ボタンを押し、確実に洗浄できるか確認する。

4. ふたを取り付ける。

# 7

## 凍結防止弁の調節 (寒冷地用の場合)



<凍結のおそれがある時期>

凍結防止弁を **開**。

凍結防止のため、常に水が少量流れます。

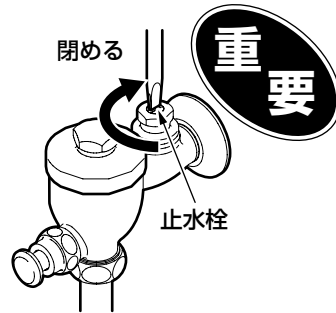
<凍結のおそれがない時期>

凍結防止弁を **閉める**。

# 8

## ピストンバルブの掃除 (月1回)

十分な機能を発揮させるため、また、美しく衛生的にご使用いただくために日ごろのお手入れをお願いいたします。



1. 止水栓を閉める。

2. モンキーレンチでふたを外す。

めっきを傷付けないように必ず布片を挟んでください。

3. ピストンバルブを取り出し、フィルターや小穴の掃除をする。

フィルターに詰まったごみや汚れをブラシなどで取り除いてください。

小穴にごみ詰まりがある場合は、細い針金 (荷札の針金など) で掃除してください。

**注意**



Uパッキンに傷や切れがないことを確認し、めくれないように注意してください。

Uパッキンに傷や切れがある場合は向きを間違えないように取り替えてください。

4. 掃除が終わったら、ピストンバルブを組み込み、ふたを取り付ける。